

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	天朝山文化交流の家			所管課	公園管理事務所	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・利用者数等について数値目標を定め管理すること。 ・天朝山公園の他の施設も含めて一体的なPRを行い、利用を促進すること。 ・天朝山公園全体の文化的価値を踏まえて、テーマ・方向性を定めること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H15(2003)	木造	1階建	130.56 m ²
R4収入	R4維持管理費	R4利用者数	(参考) R3利用者数
87 千円	706 千円	535 人	715 人

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考		
令和5年度	天朝山公園の魅力向上のため、園内にある矢倉を改修し内部に資料を展示することとし、改修工事は完了。 現在、生涯学習課に依頼し、歴史的な背景を感じられる展示資料を準備中。	R 5 （R6.3 末） 利用者数 9 0 8 人		
		参考（年間利用人数）		
		<table><tr><td>R 4年度</td><td>5 3 5 人</td></tr><tr><td>R 3年度</td><td>7 1 5 人</td></tr></table>	R 4年度	5 3 5 人
R 4年度	5 3 5 人			
R 3年度	7 1 5 人			

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	【年間利用目標】 1,500 人 ・コロナ前の利用者数を目標とする。 【利用者増の取組】 ・天朝山の矢倉改修や資料展示をすることとしており、近くに市島春城の生家離れ、水原代官所があり、幕末から明治始めにかけての歴史的な背景を感じられるような取組をすることで魅力の向上を図る。 ・市の広報やHP 利用により利用促進を図る。 【設備更新】 ・予防保全の徹底	・矢倉内改修工事は完了。生涯学習課と協議し、矢倉内の展示資料を年内に整備する。矢倉の活用は来春から行う。
令和6年度	【年間利用目標】 1,500 人 【利用者増の取組】 ・イベントの開催 ・市の広報やHP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底	【年間利用目標】 1,500 人 【利用者増の取組】 ・他課との連携による取組 ・市の広報やHP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底
令和7年度	PDCAにより検証し、取組を継続	
令和8年度	PDCAにより検証し、取組を継続	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	歴史的背景のある天朝山公園一体として、小学生の学習利用や、市外・県外向けにもPRを図ること。
----------------	--

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	矢倉の改修工事が完了しており、内部に展示する資料について生涯学習課と調整中。年度内に展示が終わらず、令和6年度にずれ込む。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	水原テニスコート			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・阿賀野バイパス部分開通が好機となることから、市外の利用者を誘客すべき。 その際、他の観光資源と組み合わせることで魅力が向上するので、他の部署との連携を進めること。 ・利用促進を図るうえで、民間活力の活用を検討すべき。 ・期限を定め、早期に取り組むこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H11(1999)	木造	1階建	64.44 m ² (トイレ・更衣室等)
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
107 千円	422 千円	1,508 人	2,431 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	令和5年度利用実績は1,520人となり、令和4年度1,508人と比較すると12人増、0.8ポイントの増加となりましたが、目標に到達することはできませんでした。 PR活動では、ホームページの掲載を継続しました。また、看板を設置しましたが風雨により破損したため、耐久性のある看板の設置が必要となります。	利用者数 1,520 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組（集客を主とする。） 【指標】 2,600人(令和元年度2,608人) ※コロナ前の利用者数に戻すことを令和5年度の目標とする。 ※令和5年度以降、前年度1割増加を目標とする。 ・阿賀野バイパス利用者への施設PR（フェンスに施設看板取付） ・テニスコート場及び屋内運動場利用者への多用途利用に向けた聞き取り ・市外スポーツ協会へのPRチラシの送付 ・ホームページによる市内外への利用促進	
令和6年度	利用増の取組 ・市内外へのPR継続 ・多用途への施設活用 ・PDCAによる効果検証 民間活用の検討	
令和7年度	利用増の取組 ・PDCAによる効果検証	
令和8年度	利用増の取組 ・PDCAによる効果検証	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	令和5年度利用者実績は1,520人となり、令和4年度実績1,508人と比較すると12人増、横ばいの状況となり、目標には到達しませんでした。PR活動では、ホームページへの掲載を継続した他に看板を設置しましたが、風雨により破損したため、耐久性のある看板の設置が必要となります。多用途利用については、サッカースポーツ少年団へ確認を行いました。コートが狭いことやラインがないことなど利用は難しいとの回答でした。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	城ノ内野球場			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	現状維持	劣化箇所調査	不具合修繕			
R 3 行政改革推進委員会意見						
- 安全管理をしっかりと行いながら維持していくこと。 - ナイター設備、バックネット支柱などは重大事故に繋がる恐れがあるので、早急に点検を行うこと。 なお、ナイター設備の廃止を行う場合、利用者や地域住民からの理解を得るよう努めること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S48(1973)	鉄筋コンクリート造 木造	1階建	54.08 m ² (トイレ・倉庫)
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
273 千円	1,108 千円	3,368 人	3,491 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	定期的な安全パトロールを行い、施設修繕を実施 地震もありましたが、大きなひび割れも確認されず状態を保っています。ナイター利用について、スポーツ少年団、中学校野球部、その他、大人の団体が定期的に利用しており、利用人数が多くなっている状況です。	利用者数 3,380 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の把握 ※照明施設の修繕は行わない。 ナイター利用の廃止検討 【方針】 水銀灯照明が利用不可となった時（球不足、器具故障など）、または利用団体との調整ができしだい、ナイター利用は終了とする。 ・野球場夜間利用者の状況把握 ・利用団体の意向確認の実施	
令和6年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕 利用団体の意向を踏まえた施設利用の実施	
令和7年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕	
令和8年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	老朽化施設は、安全性を考慮して期間を定めて廃止等の検討を進めること。
----------------	------------------------------------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	定期的に安全パトロールを行い、施設の修繕を図っています。夜間利用に伴う、水銀灯の点灯状況を把握し、照度の確認を行っています。利用状況は良好ではありますが、夜間利用団体を把握するとともに、水原野球場の夜間利用についても調査を進め、今後の野球場の利用方法について検討を進めます。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	安田B＆G海洋センター			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・幼稚園、保育園、認定こども園、小中学校でのプール教育の実態を把握したうえで、利用の促進に努めること。 ・わかりづらい場所にあることから、PRに努めること。 ・利用促進を図るため、安全管理に配慮しつつ指定管理者制度の導入も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S60(1985)	鉄骨造	1階建	125.00 m ² (受付・更衣室部分)
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
6 千円	2,229 千円	615 人	0 人 (休館)

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	今年度から開始された笹岡小学校全校生徒の授業利用では、天候に左右されずに実施することができた。 PR活動では、生涯学習事業や公民館・体育館施設等で、チラシの掲載や声掛けにより、成人の方の利用（ウォーキング&スイム）が15件ほどあった。コースロープを張るなど専用コースを設け、利用者層の拡大につなげた。誘導看板については、周辺に2カ所設置。 猛暑による外出制限がかかったため、広報等での周知にとどまり、LINEによる積極的利用案内が出来なかった。	利用者数2,531人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組 【指標】 3,000人(令和元年度2,975人) ※コロナ前の利用者数に戻すことを令和5年度の目標とする。 ※令和5年度以降、前年度1割増加を目標とする。 ※ターゲットは、幼児・小学生を中心とし、成人にも施設をPRする。 ・案内（誘導）看板設置 ・キッズ水泳教室の開催 ・一般開放の実施 ・継続的事業の取組 ・小中学校への施設利用チラシの配布 ・広報、ホームページ及びLINEを活用した市民への周知	
令和6年度	利用増の取組 ・継続的事業の取組 ・PDCAによる効果検証	
令和7年度	利用増の取組 ・継続的な事業の取組 ・PDCAによる効果検証	
令和8年度	利用増の取組 ・継続的な事業の取組 ・PDCAによる効果検証	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	令和5年度2,531人、猛暑による外出抑制による利用者の減となり、目標である3,000人には満たなかった。笹岡小学校全校生徒の利用により天候に左右されずに利用することができた。PR活動では、生涯学習事業や公民館・体育館施設等でのプールチラシの掲載や声掛けにより、成人の方の利用（ウォーキング&スイム）が15件ほどあり、コースロープを張るなど専用コースを設け、新たな利用者層がありました。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	安田体育館			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	用途廃止検討	廃止検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・老朽化の状況から廃止もやむを得ないが、市民の納得を得られるきめ細かい廃止計画が必要。 ・水原総合体育館、笹神体育館をはじめ市内体育施設の配置、機能分担等を明確にすること。 ・現在の利用者の振り分けを円滑に行うため、利用者の意向を確認すること。 ・廃止にあたっては、残る施設の機能強化等も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S51(1976)	鉄骨コンクリート造	2階建	2,298.10 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
329 千円	8,748 千円	13,766 人	12,203 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	新規利用団体については、他施設を利用するよう調整を図り、受け入れをしておりません。 一般開放利用者については利用者数が伸びています。 利用団体の他施設への移行調査では、広い体育館が無いため、調整が難航する団体もある模様です。 今後の方向性を見ながら、施設修繕等を進めていきたいと考えます。	利用者数 17,472 人 R 1 利用 19,719 人 [参考] ・水原総合体育館 83,099 人 ・笹神体育館 40,926 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・利用団体への意向確認 ・今後の在り方の検討	
令和6年度	今後の在り方方針案の作成	
令和7年度	今後の在り方方針に基づく取組	
令和8年度	今後の在り方方針に基づく取組	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	利用者の安全性を確保するためにも、施設の在り方について早く方向性を示す必要がある。
----------------	---

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	安田地区全体の利用状況を把握し、安田体育館以外での利用について、紙面上で調整を図っています。また、新たな利用希望団体については、他施設での利用をお願いしています。施設の方向性が確定したい、個別に団体との調整を図ります。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	京ヶ瀬体育館			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
京ヶ瀬	用途廃止検討	廃止検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・老朽化の状況から廃止もやむを得ないが、市民の納得を得られるきめ細かい廃止計画が必要。 ・水原総合体育館、笹神体育館をはじめ市内体育施設の配置、機能分担等を明確にすること。 ・現在の利用者の振り分けを円滑に行うため、利用者の意向を確認すること。 ・廃止にあたっては、残る施設の機能強化等も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	鉄骨コンクリート造	2階建	1,881.01 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
369 千円	6,708 千円	6,617 人	5,713 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	令和5年11月から京ヶ瀬体育館定期利用団体への今後の在り方に向けた説明及びそれに伴う代替施設の協議を行いました。また、11月17日の議員全員協議会において、京ヶ瀬中学校グラウンド整備事業に関連し、令和6年4月1日に京ヶ瀬体育館廃止を行う説明を行いました。 今後は、広報や京ヶ瀬体育館への掲示を行うなどして、周知を行ってまいります。	利用者数7,522人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・利用団体への意向確認 ・今後の在り方の検討	令和6年3月31日で閉館
令和6年度	今後の在り方方針案の作成	
令和7年度	今後の在り方方針に基づく取組	
令和8年度	今後の在り方方針に基づく取組	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	教育委員会が検討している京ヶ瀬中学校グラウンド整備計画に合わせ、京ヶ瀬体育館用地の活用を検討した結果、令和6年度3月31日で体育館を閉館とし、閉館に合わせ、既存利用団体の代替箇所について調整を行いました。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭連峰少年自然の家			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	運営改善	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・利用者等について数値目標を定め、期限を設けて取り組む。目標達成できなければ廃止も検討すること。 ・魅力的な条件を多く持っている施設であることから、他の施設と連携し、五頭連峰の観光や自然体験活動の拠点となるよう取り組むこと。 ・これまでも何度も問題視されてきた施設であり、真剣に改善に取り組むこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	鉄筋コンクリート造	2階建	2,451.98 m ²
R 4収入	R 4維持管理費	R 4利用者数	(参考) R 3利用者数
28,145 千円	26,607 千円	6,179 人	5,750 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	令和5年度の実績は、令和4年度と比較すると128.2%増の7,923人となり、目標人数の10,000人には及ばないものの、回復傾向をみせました。主な取り組みは、生涯学習課と9事業を連携開催しその運営にあたりました。(休館期12月と2月の事業実施含む)。また、県自然の家とも共催しキャンプ事業を開催しました。団体受入れでは、新型コロナの感染法上の分類が、5月に2類から5類に移行した直後から問合せが増え始め、スポーツ団体を中心に利用が伸びました。(19→34団体) 一方、今年の猛暑は特に、テレビ報道等では屋外の活動を自粛するような内容が多く、宿泊棟の一部にしか冷房施設がない当施設は、利用者の安全対応に苦慮しました。猛暑の影響で利用キャンセルもでました。また、いこいの森とは1回、五頭自然学校とは2回話し合いを持ち、五頭温泉エリアとしても施設やイベントと一緒にPRできるとよいなどの意見交換ができました。しかし、事業共催までには至りませんでした。施設・エリア管理では、植栽や草刈り、伐木、遊歩道整備や館内の美化や衛生管理を心掛けました。	利用者数 7,923 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	【経営改善】 【年間利用目標】 10,000人 *コロナ前まで戻すことを直近の目標とし、令和5年度は10,000人を目標とする。（当面、毎年1,000人ずつ増を目標とする。） 【手段】 ①いこいの森との連携 *いこいの森利用者へ自然の家風呂開放検討 ②いこいの森・五頭自然学校との連携 *講師派遣・共催イベント開催の検討 ③受入対象の拡大 *対象は、高校生・大学生・企業等の社会人（部活・サークル・研修等） （Wi-Fi環境を活用した活動の受入 パソコン、タブレット、スマホ持込利用） ④主催事業開催 *社会教育と連携 *自然の家主催 *県少年自然の家との共催 【施設の魅力向上の取組】 ①炊飯場のチップ敷き ②遊歩道砂利敷き整備 ③花木の植樹による環境整備	
令和6年度	・PDCAでの見直し ・利用者増加の取組 ・受入対象の拡大検討 ・施設の魅力向上の取組 （過疎債を使用した耐震改修等の検討）	【経営改善】 【年間利用目標】 10,000人 *コロナ前まで戻すことを直近の目標とし、令和6年度は10,000人を目標とする。（当面、毎年1,000人ずつ増を目標とする。） 【手段】 ①いこいの森との連携 *サバイバルキャンプの実施 ②いこいの森・五頭自然学校との連携 *講師派遣・共催イベント開催の検討 ③受入対象の拡大 *対象は高校生・大学生・企業等の社会人（部活・サークル・研修・大会等） （Wi-Fi環境を活用した活動の受入 パソコン、タブレット、スマホ持込利用） ④主催事業開催 *社会教育と連携 *自然の家主催 ⑤県少年自然の家との共催 *はつらつ体験塾 *つながろう1五頭・たいないキャンプ 【施設の魅力向上の取組】 ①炊飯場のチップ敷き ②遊歩道砂利敷き整備 ③花木の植樹による環境整備
令和7年度	同上	同上
令和8年度	同上	同上

4 行革意見

令和6年度 10月意見	発信されている施設の情報量が少ない。利用者増を図るためにも施設情報の発信を強化すること。
----------------	--

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	新型コロナの分類が5類に移行したあと、大会・スポーツ合宿等の問合せが増え、受け入れを積極的に行った結果、目標値の10,000人の80%程度8,000人程度までになる見込みです。一方、いこいの森、五頭自然学校との打合せでは、協力体制の合意に至りませんでした。今後も継続的に協議を進めるなかで連携体制を模索します。社会教育事業との連携で9事業を自然の家を会場で実施しました。また、新潟県少年自然の家と共催で事業を実施しました。 施設管理においては、委託管理と併せて自前での木の植栽（緑の羽事業の根苗木植栽）や伐木、遊歩道整備や日常管理など衛生管理・安全管理に配慮した管理ができました。 今後は、経営改善をさらに進めます。
進捗管理 (管財課記入欄)	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	神山ふれあいの家			所管課	社会福祉課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	用途廃止	用途廃止に向けた協議				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・現利用者である地元自治会との協議を早急に行うこと。 ・期限を定め今後の活用方法（廃止・解体含む）についての整理を行うこと。 （第1期期間内という意味ではない。それより短い期間で行う必要がある。）						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S56(1981)	鉄骨造	1階建	81.20 m ²
R4収入	R4維持管理費	R4利用者数	(参考) R3利用者数
0千円	294千円	17人	24人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	主に利用している二団体と利用協議を行う。 ・しらとり自治会 →維持管理を自治会で負担してまで管理は厳しい。廃止されたら他の公民館等を借りて総会をする。 ・阿賀野市グランドゴルフ協会笹神クラブ →笹神はこの場所以外グランドゴルフができる場所がない。できれば今後も利用していきたい。 神山ふれあいの家利用廃止。 ゲートボール場については、活用方法が決まるまで笹神グランドゴルフが利用。	利用者数 0人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	用途廃止に向け利用者及び地元自治会との協議	
令和6年度	・用途廃止 ・旧ささかみ荘も一体として、土地を含む活用方法の検討	
令和7年度		
令和8年度		

4 行革意見

令和6年度 10月意見	今後の活用方法の検討について、期限を定めて行うこと。
----------------	----------------------------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	現在活用中であるしらとり自治会長及び笹神グランドゴルフと協議 一旦は、ゲートボール場を含む全ての場所を廃止としたが、笹神グランドゴルフからの強い要望と、廃止後の土地活用方法が定まっていないことから、ゲートボール場及び屋外トイレのみ利用可能として継続することとなった。 今後は、笹神グランドゴルフとも協議しながら土地活用方法について検討していく。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	どれみハウス倉庫（旧白鳥ルーム）			所管課	社会福祉課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持 (貸付)					
R 3 行政改革推進委員会意見						
・福祉事業を運営するために必要な施設であると認められるため、現状維持を妥当とする。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S47(1972)	鉄骨造	2階建	265.50 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
0 千円	0 千円	なし（用途：倉庫）	なし（用途：倉庫）

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考
令和5年度	現状維持（貸付）	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	貸付団体と譲渡協議	
令和6年度	譲渡の場合：譲渡手続 譲渡しない場合：貸付継続	貸付継続
令和7年度		
令和8年度		

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☒ 未実施
改善策等	令和5年度中に貸付団体との譲渡協議は未実施 （令和5年8月1日から令和10年7月31日までの使用貸借契約を締結）

進捗管理 （管財課記入欄）	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	福祉会館			所管課	社会福祉課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持		大規模改修の検討			
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・利用者が多いにも関わらず、照明が暗いなどの不具合が多いので、それらの改善を図ること。 ・大規模改修が必要である。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S58(1983)	鉄筋コンクリート造	2階建	1,327.07 m ²
R4収入	R4維持管理費	R4利用者数	(参考) R3利用者数
8,189 千円 指定管理料 6,849 千円	8,287 千円	12,623 人	10,317 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	施設修繕 ・非常用照明器具取替 209,000 円 ・遊戯室ファンコイルモーター修繕 115,500 円 ・冷温水ヘッダーバルブ取替修繕 305,800 円 利用状況アンケート集計(9/6～9/29)の結果、約70%の団体が定期利用で週1回、次いで月1回利用が多いことが分かった。これを踏まえて、類似施設への利用者振り分けが可能か検討していく。	利用者数 13,039 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・社会情勢や利用者推移など将来需要見込みを考慮した大規模改修の検討 ・利用者属性の調査 ・類似施設（憩の家、公民館等）への利用者の振り分けの検討	
令和6年度	令和5年度の方針に基づいた取組	
令和7年度	令和5年度の方針に基づいた取組	
令和8年度	令和5年度の方針に基づいた取組	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・4月下旬頃から新たに年代別利用者の集計を開始。どの層の利用者がどの場所を活用しているか等、多様なニーズに応えられるように引き続き集計を行った。 ・9月中に利用団体へのアンケートを集計。どんな団体が週何回程度利用しているか調査し、福祉会館の今後の方針を固めていく。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	農業総合管理センター			所管課	農林課	
地区	第 1 期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	譲渡検討	譲渡交渉				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・実質的に指定管理者である JA の専用施設となっているため、早急に譲渡に関して JA との協議を進めること。 ・補助金に伴う処分制限について整理をすること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H7(1995)	鉄骨造	2 階建	867.18 m ² (該当部分)
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
0 千円 指定管理料なし	442 千円	1,350 人	4,667 人

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考
令和5年度	・指定管理による運営 (指定管理期間：令和7年度まで) 譲渡交渉 ・耐用年数は38年、経過年数は28年である。 ・JA 新潟かがやきあがの支店の新支店長と情報共有を行っており、現在譲渡に向け協議進行中。 ・譲渡に向けて、条件を整理中。	利用者数 1,185 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	譲渡交渉 ・指定管理期間中に譲渡に向けて結論を出す。 ・新潟かがやき農協と協議	
令和6年度	PDCAサイクルによる事業管理	
令和7年度	PDCAサイクルによる事業管理	
令和8年度	協議結果に基づき事業を進める。	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・耐用年数は38年、経過年数は28年である。 ・JA 新潟かがやきあがの支店の新支店長と情報共有を行っており、今後譲渡に向けた協議を進める。 ・譲渡に向けて、条件を整理する予定。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	笹神農民研修所			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	用途廃止	用途廃止に向けた協議				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・地域住民の意見を聞き、支障がないなら処分（解体）すべきである。 ・仮に譲渡の方向で協議するにしても、多額の費用をかけて修繕する必要があるのならば、譲渡しないことも考えられる。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S57(1982)	鉄筋コンクリート造	1階建	395.89 m ²
R4収入	R4維持管理費	R4利用者数	(参考) R3利用者数
2千円 指定管理料なし	3千円	40人	100人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	・指定管理による運営 (指定管理期間：令和7年度まで) ・耐用年数は47年、経過年数は41年である。 ・耐用年数を経過するまでは、解体できないのが現状であり、また、譲渡を行う場合、多額の修繕費用がかかる見込み。 ・そのため、今後の活用方法を現在検討中。	利用者数 0人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・みそ加工施設利用者の代替施設を農協が確保した時点で指定管理を終了し用途廃止検討 ・他目的での利用を検討	
令和6年度	同上	
令和7年度	同上	
令和8年度	決定した事項に向けて事業を進める。	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。 財産処分については条件をよく確認すること。
----------------	------------------------------------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・耐用年数は47年、経過年数は41年である。 ・耐用年数を経過するまでは、解体できないのが現状であり、また、譲渡を行う場合、多額の修繕費用がかかる見込み。 ・そのため、今後の活用方法を検討中。
進捗管理 (管財課記入欄)	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	ゆうきセンター			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	機能集約	機能集約の検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・グリーンアクアセンターと統合する場合、ゆうきセンターの維持経費を削減しなければならない。 ・経費削減という点では、堆肥保管場所としての利用は有効。 ・ゆうきセンターとグリーンアクアセンターそれぞれの施設の役割を整理して市民への説明責任を果たせるよう準備すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H3(1991)	鉄骨造・木造	1階建	2,325.00 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
45,986 千円 指定管理料なし	40,665 千円	1,093 人	1,076 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	・指定管理者（JA新潟かがやき・酪農協）に対し、製造拠点となるグリーンアクアセンターの堆肥製造方法を計画図で説明した。（10月） ・指定管理者に対し、再編に向けた作業スケジュールを説明した。（2月）	利用者数 1,048 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・ゆうきセンターの機能（ストック場）を決定し、必要な修繕箇所を確認する。	
令和6年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。	
令和7年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。 ・グリーンアクアセンターでの受入れ状況が整い次第、ゆうきセンターの堆肥製造を中止する。	
令和8年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。 ・グリーンアクアセンターでの受入れ状況が整い次第、ゆうきセンターの堆肥製造を中止する。	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	令和4年度取組実績を基に所管課としての原案を作成し、市長説明を行った。 また、関係機関に対し施設再編に向けた作業スケジュールを示した。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	分田農村環境改善センター			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・分田地区の中心となる公共施設であり、社会的な役割が認められる。 ・地元集会所としての役割もあるため地元の負担も検討すべき。 ・収支改善が課題であり、当該地域以外の市民へのPRを行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H4(1992)	鉄骨造	2階建	506.90 m ²
R4収入	R4維持管理費	R4利用者数	(参考) R3利用者数
83 千円	1,104 千円	2,466 人	2,067 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	・利用者増加を図るため、広報あがの10月15日号に記事を掲載し、施設のPRを行った。 ・「施設予約システム」を導入し、施設の予約をPCやスマートフォン等で、部屋の空き状況を24時間いつでも確認できるようになった。 ・2月には、利用者が自身で施設予約を行うことができる環境に移行した。	利用状況の把握 令和5年度 利用件数168件 利用人数1,881人 収入106千円 維持管理費1168千円

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	R2年度 利用件数 99 収入 78 千円 R3年度 利用件数 130 収入 79 千円 R4年度 利用件数 144 収入 82 千円 ○利用者増の取組 （利用件数 150 件、利用者数 2,500 人を目指す。） 新型コロナウイルスによって利用件数が大幅に減少したR2年度から徐々に利用件数は増加しているが、収入は依然として低調なため、広報あがの施設のPRを行い、地域以外の利用者の増加を図る。 ○維持管理費の見直し 維持管理費が現在の利用状況に見合ったものか検証する。（警備委託料、清掃業務委託料の必要性など）	
令和6年度	利用者増の取組 ・PDCAにより検証し、取組を継続	
令和7年度	利用者増の取組 ・PDCAにより検証し、取組を継続	
令和8年度	利用者増の取組 ・PDCAにより検証し、取組を継続	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・利用者増加を図るため、広報あがのに記事を掲載し、施設のPRを行った。 ・12月、施設の予約をPCやスマートフォン等で、24時間いつでも申請できる「施設予約システム」を導入した。

進捗管理 （管財課記入欄）	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	小島駐車場（トイレ）			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
京ヶ瀬	現状維持					
R 3 行政改革推進委員会意見						
・見た目も含めて綺麗にした方がよい。 ・トイレ単体で考えるのではなく、市の観光施策全体の中での位置づけを明確化して維持すべき。 ・現状維持で管理を行い、利用者の声を聞きながら改善すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	コンクリート ブロック造	1 階建	7.88 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
4 千円	330 千円	未集計	未集計

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考
令和5年度	適切な維持管理業務（清掃週2回実施）	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	
令和6年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	
令和7年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	
令和8年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	引き続き適切な維持管理業務を実施していきます。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	やまびこ通り（トイレ・東屋）			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	現状維持					
R 3 行政改革推進委員会意見						
- 必要な修繕を行って維持管理すること。 - 訪れる人を歓迎するために必要な整備・維持管理を行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H5(1993)	鉄筋コンクリート造	1階建	51.37 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
0 千円	665 千円	未集計	未集計

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	適切な維持管理業務 (清掃週2回実施、繁忙期は週3回実施)	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和6年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和7年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和8年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	引き続き適切な維持管理業務を実施していきます。 不具合箇所（庇の柱が腐食、天井一部剥がれ）の修繕については令和6年度予算に計上し実施予定です。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭山麓うらの森			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・目標達成に向けて、他施設との連携、位置づけの明確化、運営体制等の検討を行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H14(2002)	木造	1階建	492.65 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
7,510 千円	8,136 千円	101,381 人	103,596 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	9月18日にWALK&EAT(体験型ウォーキングイベント) 地域の特産品やお土産の充実に向けた取組 結桜20本植樹	利用者数 99,283 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し(修正計画)
令和5年度	利用増の取組（年間利用者 120,000 人を目指す。） ※毎年 10,000 人ずつの増加を目標とする。 ・前年度取組の継続 ・道の駅あがの来場者への施設 PR （観光パンフレットの読み取り QR コードを作成し 来場者へ周知。来場者は新たに設定した目的別の モデルコースをもとに市内観光施設を周遊する。） 【個別施設】 ・芝生広場等を活用したイベント開催 内容：阿賀野 WALK&EAT ・この地域の特産品やお土産の充実 内容：市内地場産工芸品等の未販売者への勧誘 ・温泉客、登山者向けの PR 内容：登山者及び共同浴場利用者の施設利用と駐車場 活用	
令和6年度	利用増の取組（年間利用者 130,000 人を目指す。） ・同上 ・PDCAによる見直し PR効果の検証（来場者数、アンケートなど） 利用者増加に向けた取組内容 地域の施設との連携状況 施設の充実度（品目・対応） ・芝生広場や花壇の魅力向上へ向けた取組	
令和7年度	利用増の取組（年間利用者 140,000 人を目指す。） ・同上	
令和8年度	利用増の取組（年間利用者 150,000 人を目指す。） ・同上	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	施設の活用にあたっては、利用者・関係者から意見を聞き、周辺施設と一体的に検討すること。
----------------	---

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	□実施（完了） ☒ 実施（進行中） □未実施
改善策等	9月18日にWALK&EAT(体験型ウォーキングイベント)が開催され、会場となった当施設も 700人に迫る来館者が訪れました。 地域の特産品やお土産の充実、温泉客、登山者向けのPRについては、引き続き検討を続けます。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭山麓いこいの森			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	運営改善	近隣施設との連携検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・少年自然の家など他の施設との連携を検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S57(1982)	鉄骨造・木造	1階建	261.13 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
6,306 千円 うち指定管理料 1,800 千円	6,443 千円	25,712 人	29,878 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	五頭山麓の自然や、五頭薬用植物園を活用した実践体験として2回開催。 5/27 森づくりと森・植物の勉強を実施 参加人数：12人/無料 9/23 秋の花の姿の不思議 参加人数：5人/無料	利用者数 26,109 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	近隣施設との連携検討 ・少年自然の家、五頭自然学校との連携による利用促進 ・五頭山麓の自然を活かした事業の実施 ・バリアフリー対応や、子供の生き物とのふれあい、五頭薬用植物園を活用した実践体験 ※年間利用者 30,000 人を目指す。（令和8年度までに、H27利用者 40,000 人を目標とする。）	
令和6年度	前年度事業のPDCAにより、更なる魅力向上及び連携を図る。 ・ネットでの口コミを集計し、利用者増加に向けた取組を検討 ・五頭薬用植物園、五頭連峰少年自然の家との連携状況 ・チェックアウト時に施設利用者の声を聴く（施設・環境・対応） ※年間利用者 37,000 人を目指す。	県事業の会場として、子供たちを対象にしたサバイバルキャンプをいこいの森と自然の家で開催。
令和7年度	同上 ※年間利用者 38,000 人を目指す。	
令和8年度	同上 ※年間利用者 40,000 人を目指す。	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	概ね妥当と認める。
----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	五頭山麓の自然や、五頭薬用植物園を活用した実践体験として2回開催。 5/27 森づくりと森・植物の勉強を実施 参加人数：12人/無料 9/23 秋の花の姿の不思議 参加人数：5人/無料 近隣施設との連携については、協議し検討します。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	水原代官所			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・学校による利用、各種講座、サービスデイの設定、情報発信など運営改善に向けた様々な手法を検討すること。 ・それらの実行のためには、これまでと違った発想、若者の視点が必要である。 ・管理運営体制について民間活力の活用も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H7(1995)	木造	1階建	498.24 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
556 千円	7,024 千円	2,231 人	1,824 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	施設修繕（石畳（敷石）、表門扉の改修 等） にいがた観光ファンクラブ Niicle(にーくる)スタンプラリー参加 秋開催：2023.9.25～11.19 冬開催：2023.12.23～2024.2.18	利用者数 1,780 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組（年間利用者2,000人を目指す。） ※毎年500人ずつの増加を目標とする。 ・前年度取組の継続 ・道の駅あがの来場者への施設PR （観光パンフレットの読み取りQRコードを作成し来場者へ周知。来場者は新たに設定した目的別のモデルコースをもとに市内観光施設を周遊する。） 【個別施設】 ・民間旅行会社による旅行ツアーの実施 ・過去に実施されたイベントの開催機関への営業 ・近隣観光施設との連携強化 （天朝山公園矢倉の改修に併せたPR） 【施設修繕】 ・石畳（敷石）、表門扉の改修	
令和6年度	利用増の取組（年間利用者2,500人を目指す。） ・PDCAにより検証し、取組を継続 施設来館者の状況 施設PRについて 来場者アンケートの検証	
令和7年度	利用増の取組（年間利用者3,000人を目指す。） ・同上	
令和8年度	利用増の取組（年間利用者3,500人を目指す。） ・同上	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	市民だけでなく市外・県外からの利用増のためのPRをしていただきたい。 天朝山公園と併せて歴史学習の利用も検討すること。
----------------	--

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	施設修繕については実施済みです。 前年に引き続きにいくる（にいがた観光ファンクラブ）が主催するスタンプラリーの参加施設として参加中です。 近隣観光施設との連携強化や、瓢湖と代官所をタイアップした取り組み、商工会等との協議会形式でのイベントの取り組み等については、今後も検討を続けます。

進捗管理 （管財課記入欄）	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	宿泊施設 リズム・ハウス瓢湖			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	運営改善	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・宿泊再開にあたっては、新たにできる「道の駅あがの」や他の施設との連携を検討すること。 ・利用を増やすため、瓢湖という立地条件（観光資源＋環境教育）を活かし、かつ五頭温泉郷と差別化した仕掛けが必要である。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H9(1997)	鉄骨造	2階建	721.71 m ²
R 4 収入	R 4 維持管理費	R 4 利用者数	(参考) R 3 利用者数
3,605 千円	11,708 千円	7,990 人	8,421 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	適正な維持管理 ワーキングスペースの運営	利用者数 8,485 人 〔内訳〕 入 浴： 5,281 人 貸部屋： 3,143 人 ワークショップ： 61 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組（年間利用者 10,000 人を目指す。） ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・ワーキングスペースの運営 ・道の駅来場者への PR ・宿泊再開の検討 修繕計画の策定 指定管理施設としての検討	
令和6年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・PDCAにより検証し、取組を継続 運営方法の検討 入浴客の推移 ワーキングスペースの活用状況 貸部屋の活用状況 指定管理施設としての検討	
令和7年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・同上	
令和8年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・同上	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	瓢湖とその周辺施設を一体として活用を検討すること。 子育て利用など分野横断的に取り組むこと。
----------------	---

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	まずは市民から施設の存在を認識していただくため、お知らせ版等で入浴施設や貸部屋の利用者増を目指し、指定管理施設（宿泊再開）としての運営を模索する。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	宝珠温泉保養センターあかまつ荘			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	用途廃止検討	譲渡・貸館利用検討				
R3 行政改革推進委員会意見						
・現在の利用者の行き場も考慮し、規模・機能の縮小を検討すること。 ・廃止を進める場合、市民に対して市の負担を示すなど、丁寧な説明を行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H4(1992)	木造・鉄骨造	1階建	440.44 m ²
R4収入	R4維持管理費	R4利用者数	(参考) R3利用者数
0千円	322千円	0人	47,858人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和5年度	R5. 3.15～R5. 5.31 市民団体からの提案募集（1件提出あり） R5. 6. 1～R5. 7.31 政策会議（申請書の内容精査及び疑義照会） R5. 8.14 申請取下げ R5. 9. 7～R5.10. 3 政策会議（今後の方向性について）	利用者数 0人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	【当初の運営方針】 ・市民団体からの提案募集 【手段】 ・広報、ホームページ、新潟日報（3月掲載）、自治会回覧等により提案募集の周知 【施設運営】 （提案あり） ・ヒアリング等により提案内容の確認と実効性及び施設運営の可否を判断（提案なし） ・今後の施設の維持管理方法について検討	
令和6年度	令和5年の決定事項により業務を遂行	【運営方針】 第三者委員会の提言書に基づき、民間を含め広く温浴施設としての提案募集 【手段】 ・広報、ホームページ等により提案募集の周知 【施設運営】 （提案あり） ・ヒアリング等により提案内容の確認と実効性及び施設運営の可否を判断（提案なし） ・温浴施設以外での活用提案募集
令和7年度	同上	
令和8年度	同上	

4 行革意見

令和6年度 10月意見	活用提案募集について、概ね妥当と認める。 市で方針を打ち出し、提案・意見を求めていくこと。
----------------	--

5 評価、改善策等（令和5年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	第三者委員会での提言2に基づき、市民団体からの提案募集で1件提出あり。条件面で合意が得られず提案取下げ。今後は提言1に向けて内部で協議中。施設改修費（修繕等）と、今後運営する期間を考慮し方針を決める。
進捗管理 (管財課記入欄)	